



熊野市立五郷小学校

いさと小だより

学校づくりのテーマ「明日も来たいと思う学校」第13号 2022年3月25日



みんな 一年間を 明るく健やかに 過ごしました

この一年間、運動場には、子どもたちの明るく元気な声が本当によく響いていました。昼休みや放課後に、ドッチビーや鬼ごっこなどでよく楽しんでいました。とても微笑ましい光景でした。来年度もぜひ続けていってほしいと思います。

今年度も新型コロナウイルス対策で、子どもたちの活動では、夏の河川・プール水泳は行えませんでした。5・6年生の米作り体験活動の稲刈りが中止になったり、3・4年生の三ツ口山環境学習の3学期の活動が中止になったりと、とても残念な思いをしました。

それでも、子どもたちはいつも一所懸命に学習活動や運動、さまざまな行事に取り組んできました。複式授業の中で自学の力を伸ばし、上級生が下級生をリードして助け合い認め合う力を身に付けてきました。子ども会・全校行事では、5・6年生を中心に協力し合いながら楽しんで活動することができました。どの子も、心身ともに一回りも二回りも大きく健やかに成長した一年でした。

今年度も保護者や地域の皆様のご協力とご理解をいただき、教職員も一丸となって教育活動に取り組むことができました。本当に有難うございました。来年度も変わらずどうぞよろしくお祈りします。

4月の予定

6日(水)	始業式 着任式	13日(水)	1年生給食開始 身体測定
7日(木)	入学式(新1年生3名)	19日(火)	全国学力・学習状況調査(6年生)
8日(金)	2年生以上給食開始	25日(月)	集金袋配布
11日(月)	2年生以上平常授業	28日(木)	授業参観 PTA総会

丸山千枚田・赤木城跡・獅子岩・鬼ヶ城見学 山崎公園(昼食休憩)

～3月7日(月) 5・6年生の卒業遠足～



3月6日までのまん延防止等重点措置期間が終了し、続いて三重県独自の再拡大防止重点期間が発出される中、実施できるのか不安に思っていたのですが、幸いなことに市のマイクロバスを使って、4人揃って出かけることができました。

千枚田：1000枚を超す棚田を1枚1枚作業することの大変さに思いを巡らせることができました。

赤木城跡：建物が無いのはちょっと寂しいですが、古い石垣に歴史が感じられました。

獅子岩：普段はなかなか眺めない世界遺産で天然記念物の奇岩をバックに記念撮影をしました。

鬼ヶ城：6年生にとっては昨年と同じコースでしたが、二度目でも“自然の彫刻”にはやはり迫力を感じることができました。

どこに行っても4人で過ごせることがとても楽しいようで、終始笑い声や会話、おふざけが絶えませんでした。4人にとって大切な思い出の一つとなりました。



「ありがとう」「さようなら」 ～令和3年度 卒業証書授与式～

今年度の卒業式は図書室で行いました。5・6年教室からの廊下には祝電やお祝いのメッセージが掲示され、青や黄、紫、オレンジ色のパンジーのプランターで“花道”がつけられました。式場は、花飾りや輪っか飾り、お祝いの言葉など、あたたかい雰囲気になっていました。入り口には、在校生から卒業生に贈られた二つ折りの色紙と、6年生の卒業記念作品がそれぞれ二つずつ並べられ、こちらも見る人の目を引き付けていました。

式が始まる前から、誰もが宇城にこさんと門田愛結姫さんの旅立ちを祝う卒業式の大切さを感じているようで、そのための程よい緊張感を互いに伝え合っているように感じられました。

卒業証書を受け取る二人の落ち着いた姿に、誰もが立派に成長したことを実感させられました。

式辞は、この一年間を「優しさ」と「自分もほかの人も大事にする考え」、「健康な心と体」を持って過ごした二人にとって、中学校生活は素晴らしいものになります、というものでした。見返してくれる二人の目からは、未来にしっかりと希望を抱いていることが伝わってきました。

在校生のお別れの言葉には、優しさや親切、楽しかったことへの感謝と、リーダーとして頑張った姿や優れた行動に対する憧れが語られました。一人ひとりが、自分の言葉に気持ちを込めてしっかりと二人に届けていました。この日のために連日、練習を重ねてきたその声と表情から、見ている者にとっても胸にジーンとくるものがありました。

卒業生は、6年間の思い出と感謝、そして将来への夢を語ってくれました。

「学校の中心となって活動した子ども会や縦割り班そうじ。協力して責任を果たすことの大切さを学びました。」「そして、毎日の授業。学習することの喜びと大切さを知りました。」「転びながら、泣きながら、失敗しながら歩いてきたこの6年間。」「いいことも悪いことも今の自分につながり、自分を成長させてくれました。」「…これまでの二人の姿や風景と重なって、どれも感動する言葉でした。新たな旅立ちを祝福する気持ちと同時に、別れをもう少し先に延ばしたいような寂しさもこみ上げてきました。



にこさんと愛結姫さんには、是非とも健やかな中学校生活を送ってほしいと思います。そして、在校生には、二人の優しさとお祈りをしっかりと受け継いでいってほしいと願っています。

箱の中身は？ ○×クイズ ～3月10日(木) 6年生を送る会～



6年生のにこさんと愛結姫さんを中心に全校のみんなが楽しめるように、3～5年生が企画・準備・運営を務めてくれました。内容は、箱の中にある物を手触りで当てる「箱の中身は何でしょう」と、6年生の2人の好みも出題となった「○×クイズ」。やっているときも見ているときも、みんな楽しそうに



過ごしていました。スライドも使った進行はとてもテンポもよく、3～5年生の一人ひとりの実行力や連携力にも感心させられました。学校Webページにはもう少し詳しく載せてあります。